

会議結果のお知らせ

令和5年度第4回宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会を次のとおり開催しました。

令和5年11月17日

宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会

1 開催日時

令和5年10月24日（火） 午後6時30分から午後8時16分まで

2 開催場所

宮古市市民交流センター 2階 多目的ホール

3 議題

(1) グループワークについて

(2) 令和4年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証の振り返り結果と
令和5年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証（案）への意見照会
について

4 会議の概要

(1)について、【まち分野】【ひと分野】【しごと分野】【デジタル分野】の検討班に
わかれてグループワークを行った。

(2)について、事務局より説明を行った。

5 問い合わせ先

宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会事務局

宮古市企画部企画課地域創生推進室

電話0193-62-2111（代表） 内線4614 0193-65-7056（直通）

令和5年度 第4回

宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会 議事録

1 開催日時

令和5年10月24日（火） 午後6時30分から午後8時16分まで

2 開催場所

宮古市市民交流センター 2階 多目的ホール

3 出席委員（20名）

松田淳、三河輝夫、芳賀桃子、赤沼喜典、井田裕基、八島彩香、山本美鈴、佐々木秀崇、井川由貴子、黒田雄心、川又講平、赤沼悦子、加藤洋一郎、成瀬賢紘、中谷杏朱、鈴木ちほ、成田邦敏、槻館勇太、長岡輝、中沢翔馬

4 欠席委員（10名）

小野寺美賀子、伊東喜幸、平子昌彦、武藤勝久、花坂雄大、上野宏介、渡部玲子、石川巧、菅野悟、瀬戸里奈

5 事務局出席者（9名）

総務部長 下島野悟、デジタル推進課長 西村泰弘、
同課デジタル推進係長 松本 強、同課主事 加藤あかり
企画部長 多田康、企画課長 箱石剛、同課地域創生推進室長 工藤真奈美、
同課主査 竹田真吾、同課主任 佐藤芙生子

6 傍聴者

なし

7 議事等

午後6時30分 企画課長が会議の開会を宣言

委員長挨拶の後、議事に入った。

議事として「(1)グループワーク」「(2)令和4年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証の振り返り結果と令和5年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証（案）への意見照会について」を実施。

（1）グループワーク

全体説明の後、各班での検討に入った。

各班で、第3回のグループワークの検討内容を更に深めた。

●A班…ひと分野

（課題）専門病院が無い

（検討内容）専門的な医療が受けられる環境を目指し、派遣した看護師と医師をつないだオンライン診療の導入や処方された薬の配送サービスの導入する

（課題）誰も孤立しない、多様性を受け入れるまち

（検討内容）誰でも集まれる場所づくりを目指し、サークル等の集まりを検索・申込

できるシステムの導入や気軽に会話ができる仕組みづくりをする

(課題) 小さい子を連れて遊びに行ける場所や、授乳室やおむつ替え台のある施設が少ない

(検討内容) 子どものための施設の増加を目指し、授乳室などの設置施設と設置場所を確認できるアプリの導入や、設置施設一覧の配布や設置型授乳室を設置する

(課題) 移住してみて良かったということを広くPR

(検討内容) 市外に向けた情報発信で移住者が増えることを目指し、移住者へのインタビューをSNSの利用年代別に使い分けた情報発信や、移住体験ツアーなどの実施をする

●B班…しごと分野

(課題) 宮古駅前の空き店舗などの有効活用

(検討内容) 民間主体での活用を目指し、貸しオフィスや隙間産業、個人でも利用可能なワーキングスペースを導入

(課題) 人材不足の解消、収入の良い仕事の創出

(検討内容) 安定した収入を得られる、良い仕事ができる企業を目指し、RPAの活用や、SAASの活用するほか、勉強ができる環境や閑散期と繁忙期で人材を補いあうような仕組みづくりの実施

(課題) 生活に必要なものをシェアし、生活コストを下げる

(検討内容) 様々なものをシェアリングできる環境を目指し、アプリの導入をするほか、倉庫や店舗のシェア、学校等で子供用品（一時期しか使用しないもの）のシェアを進める

(課題) 物流の2024年問題が間近

(検討内容) デジタルでシェアリングし、物資を運んでくれる人と荷物とをつなぐアプリの導入や出前等している店が分かるアプリを導入する

●C班…まち分野

(課題) 誰でも集える場所、自由に集まって過ごせる場所づくり

(検討内容) 老若男女が集える場所づくりを目指し、バーチャルで集まれる仕組みや、集まれる場所をアプリで発信

(課題) 医療機関の不足

(検討内容) 医療機関・医師の充足を目指し、受診のオンライン予約やオンライン診療の導入、患者のオンライン診療に向けたデジタル環境整備対策のほか、研修医等に向けた宮古市の魅力発信、開業のための資金補助を実施する

(課題) 天気が悪くても遊べる場所、観光できる場所をデジタルの力を使い創出

(検討内容) 天候に左右されない公園の整備を目指すために、室内環境がある公園の

整備や広い世代への学校体育館の開放をする。

(課題) 地域産の食材を使った給食を増やす

(検討内容) 地元食材の活用を目指し、給食アプリ等のデジタルツールを使ってメニューの募集や、地元生産者とメニュー作りをする。

(課題) 魅力的なまちになるための接客やPR

(検討内容) 接客力の向上を目指し、タブレット翻訳機能を活用した観光PRや、飲食店等、市全域でのキャッシュレス決済化

(課題) ラサの煙突の観光資源化、レジャーやスポーツ施設の充実

(検討内容) 観光地のPRと発信の強化を目指し、自宅で市の観光地を模擬体験できるような「VR」を観光に活用したり、ラサの煙突を観光資源とした説明看板を駅前に設置や、中心市街地に展望台を設置する。

(課題) 観光客に来てもらえるイベントの開催

(検討内容) スポーツイベント開催日や開催日前後に別イベントを実施することで滞在時間を増やしたら良いのではないかな。

●D班…デジタル分野

(課題) デジタルを推進する上での対策

(検討内容) デジタルツールを使える人を増やし、リスクを知る機会や使う人の意識の変化させるため、導入コストもその導入にかかる人数も少なくなる仕組みの検討のほか、携帯キャリアショップとも連携しつつ触れる機会や学ぶ機会の提供、ローンを組みなくなる高齢者にも購入できる仕組みづくり等

(課題) デジタル化の推進・活用

(検討内容) ホームページ等、入口をひとつにする。また、観光や時刻表など民間企業も含め分かりやすいように、リンクをはったり、市民向け（暮らし）と観光とに大きく分けた構成にするほか、チャットボットを活用
防災情報については、SNSでアナウンス（発生場所の位置情報を示した情報で発信→位置情報の精度、リンクの簡易さ）みんなが使っているもので発信する

(2) 令和4年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証の振り返り結果と

令和5年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証（案）への意見照会について

(質疑・意見)

<委員>

今回の意見照会では、KPIの設定についても意見してよいか

<事務局>

令和6年度に次期戦略策定作業がある。KPIについても次期戦略に向けて評価検証していく必要がある。その際の参考とさせていただく

<委員>

KPIへの意見は、今回の評価検証に反映ということではなく、その次を見越してということか

<事務局>

お見込みのとおり

<委員>

分析について意見を述べた場合、その意見が分析に反映される可能性はあるか

<事務局>

お見込みのとおり

午後8時16分 企画課長が会議の閉会を宣言